

第4回 美瑛川地区かわまちづくりWG 資料



<目次>

- 1.これまでのWG開催状況
- 2.本日の議題
 - (1)整備内容
 - (2)看板等
 - (3)社会実験の結果
 - (4)PR方法
- 3.今後のWG開催スケジュール(案)



平成28年10月25日
美瑛川地区かわまちづくりWG運営事務局

1.これまでのワーキンググループ開催状況

○第1回

平成27年11月6日

- ・WGの趣旨、かわまちの取り組み概要、今後の検討内容、現地の視察確認
(実際に美瑛川沿いをサイクリング)



○第2回

平成28年3月4日

- ・必要な整備内容等について
(サイクリングロードとして必要な整備内容等について)



○第3回

平成28年6月8日

- ・第2回WGの意見を踏まえた事務局整理(案)について
- ・地域との連携等について
(現地を自転車等により確認)



○第4回

平成28年10月25日

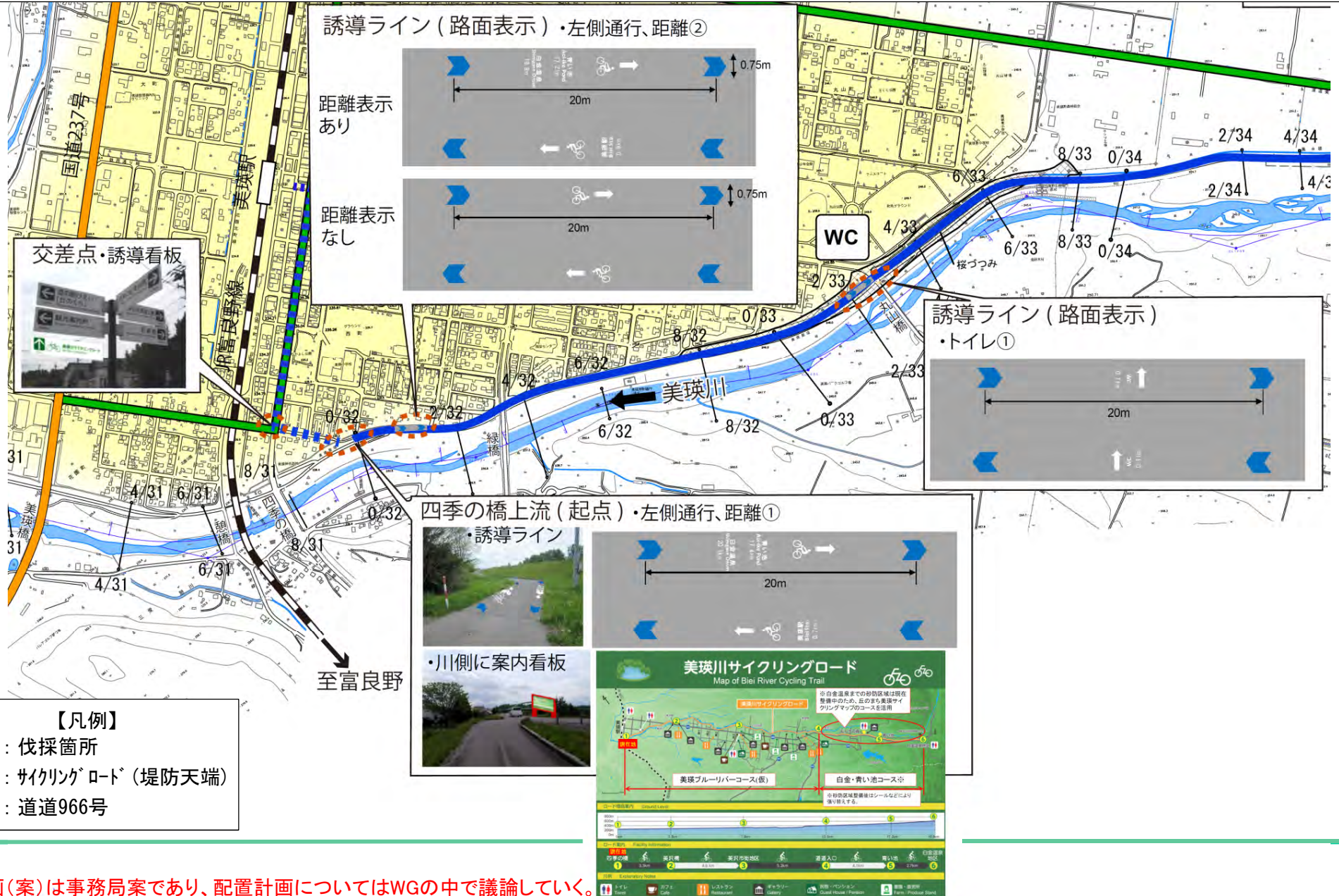
- ・第3回WGの意見を踏まえた事務局整理(案)について
- ・社会実験結果について
- ・PR方法について

2.本日の議題

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|-------|
| (1) 整備内容 | 樹木伐採、側帯盛土、アクセス道路、看板等の位置【P4】 | |
| (2) 看板等 | 案内看板のデザイン | 【P9】 |
| (3) 利活用の促進
(地域との連携) | 社会実験の実施結果について | 【P10】 |
| (4) PR方法 | PR方法について | 【P18】 |

(1) 整備内容 (四季の橋～美沢橋)

- ・サイクリングコースの起点をヘルシーマラソンコース上の32.0km付近とし、誘導看板及び案内看板を設置する。
- ・起点付近に左側通行を示す誘導ライン、丸山橋付近にトイレ(丸山公園)を示す誘導ラインを設置する。

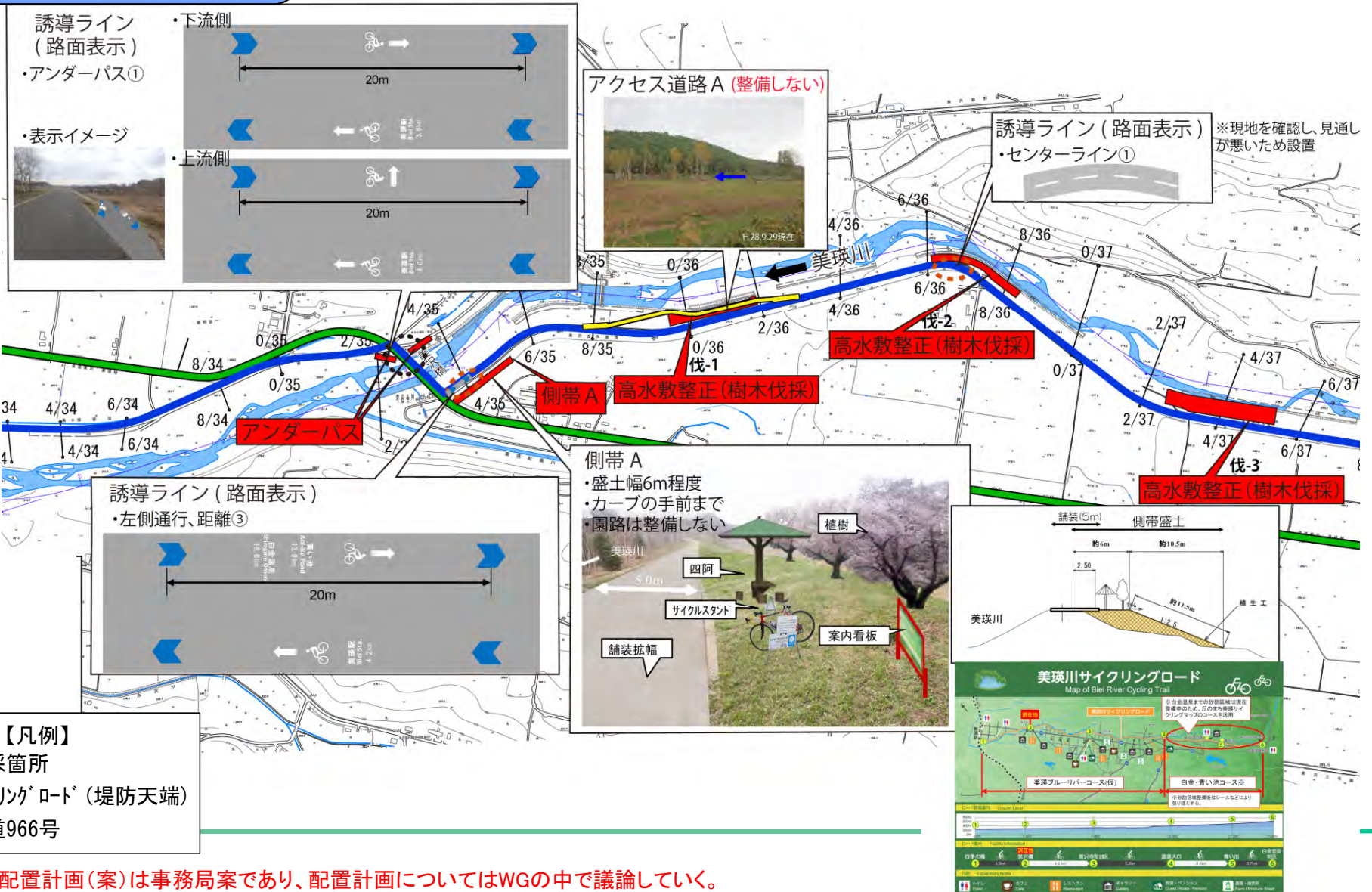


※この配置計画(案)は事務局案であり、配置計画についてはWGの中で議論していく。

(1) 整備内容 (美沢橋～37k6付近)

- ・側帯Aの延長はカーブの手前までとし、案内看板等を設置する。芝により散策が可能のため、舗装等による園路は設置しない。
- ・美沢橋からの入口付近に左側通行を示す誘導ライン、36k7付近のカーブにセンターラインを設置する。
- ・アクセス道路Aは川からの距離が遠く、また、樹木がなくなっても河岸の景色があまり変わらないため整備しない。

美沢橋～37k6付近(35k200～37k600)

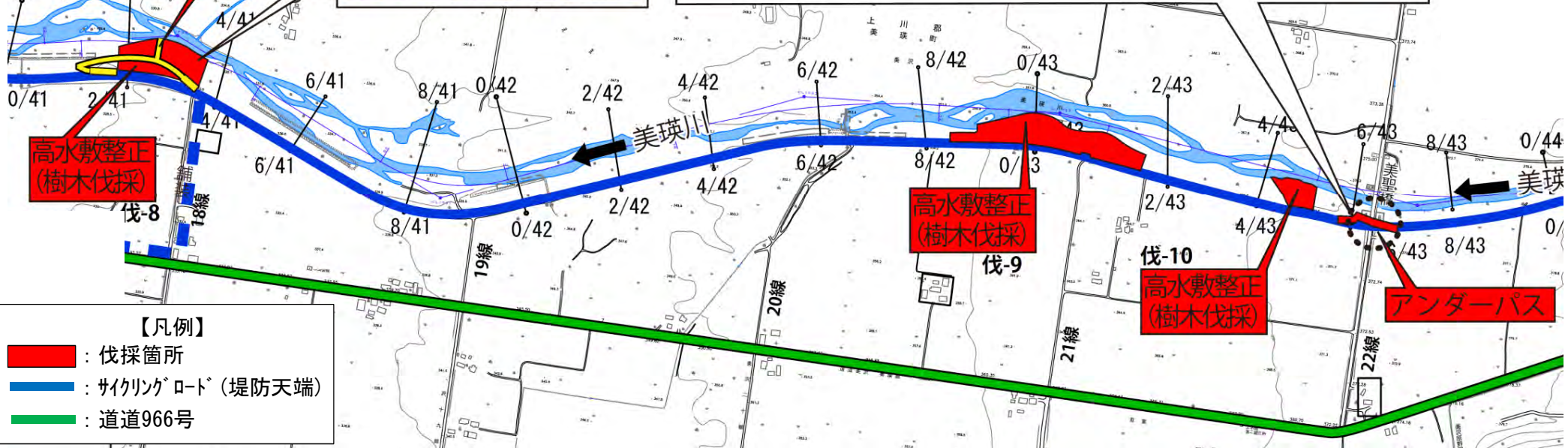


※この配置計画(案)は事務局案であり、配置計画についてはWGの中で議論していく。

(1) 整備内容 (日の出～美聖橋付近)

- ・川へのアクセス性が良いアクセス道路Eを整備する。

日の出橋～美聖橋(40k600～43k600)



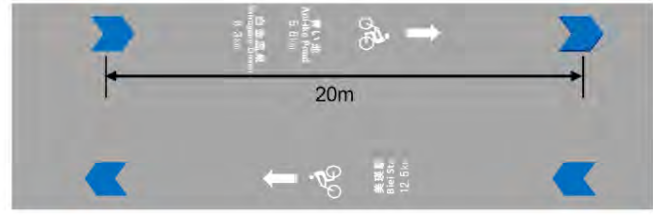
- 【凡例】
- : 伐採箇所
 - : サイクリングロード (堤防天端)
 - : 道道966号

誘導ライン
(路面表示)
・アンダーパス③

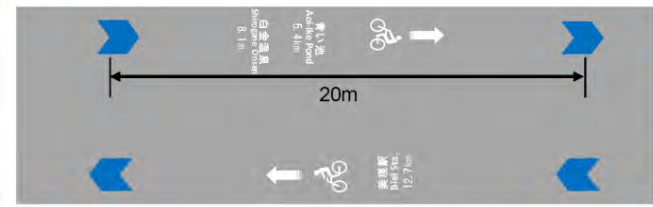


・表示イメージ

・下流側



・上流側



※この配置計画(案)は事務局案であり、配置計画についてはWGの中で議論していく。

(1) 整備内容 (日の出～美聖橋付近)

- ・伐採11の箇所は、景観を考慮し伐採を行った場合、広範囲になることが考えられるため、伐採を行わない。
- また、樹木があることによって、付近のペンション宿泊客が森の中を散策している雰囲気を楽しむ事ができる。

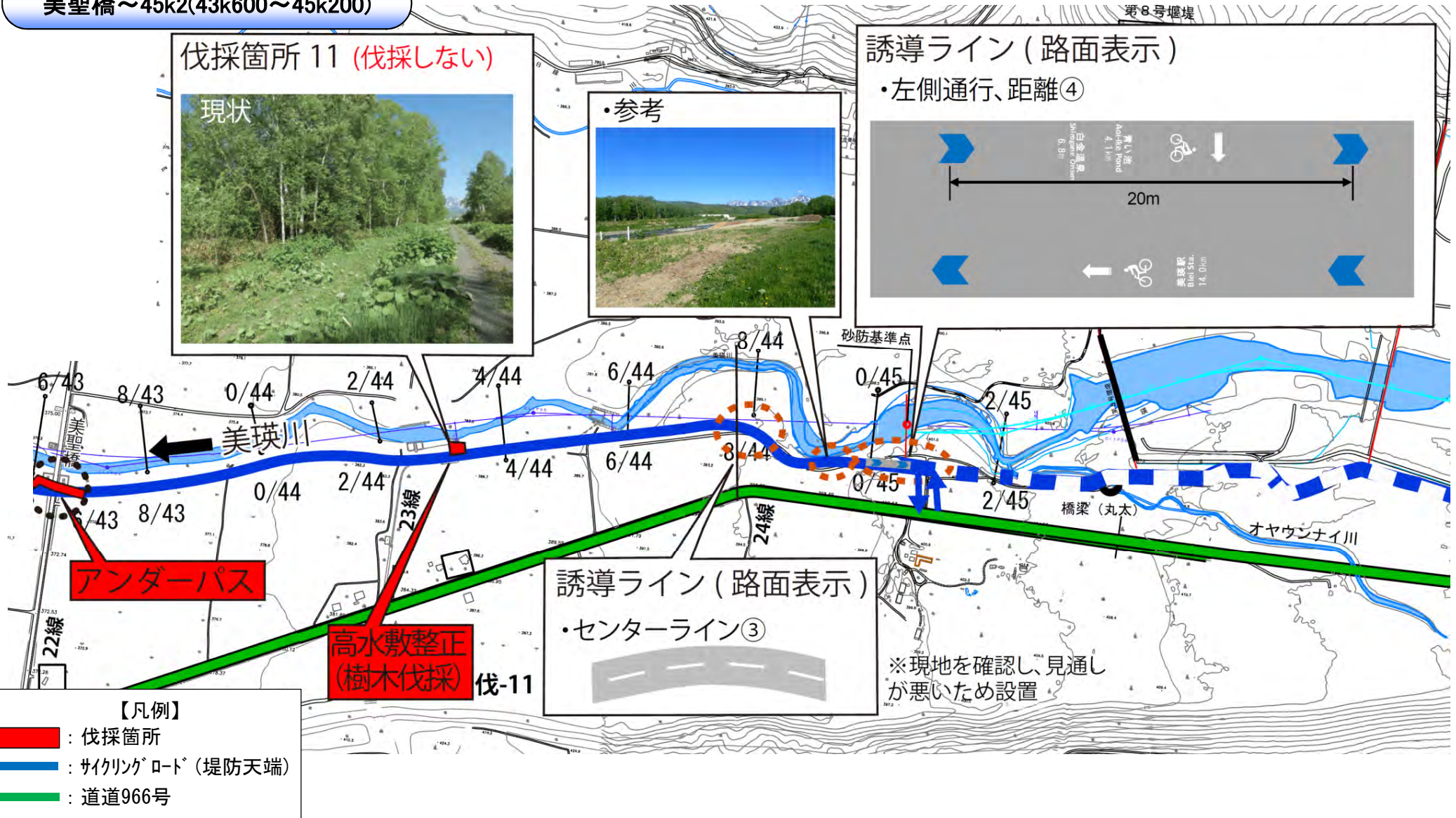
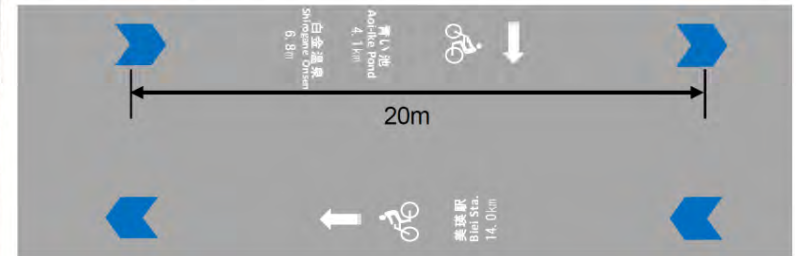
美聖橋～45k2(43k600～45k200)

伐採箇所 11 (伐採しない)



誘導ライン (路面表示)

- ・左側通行、距離④

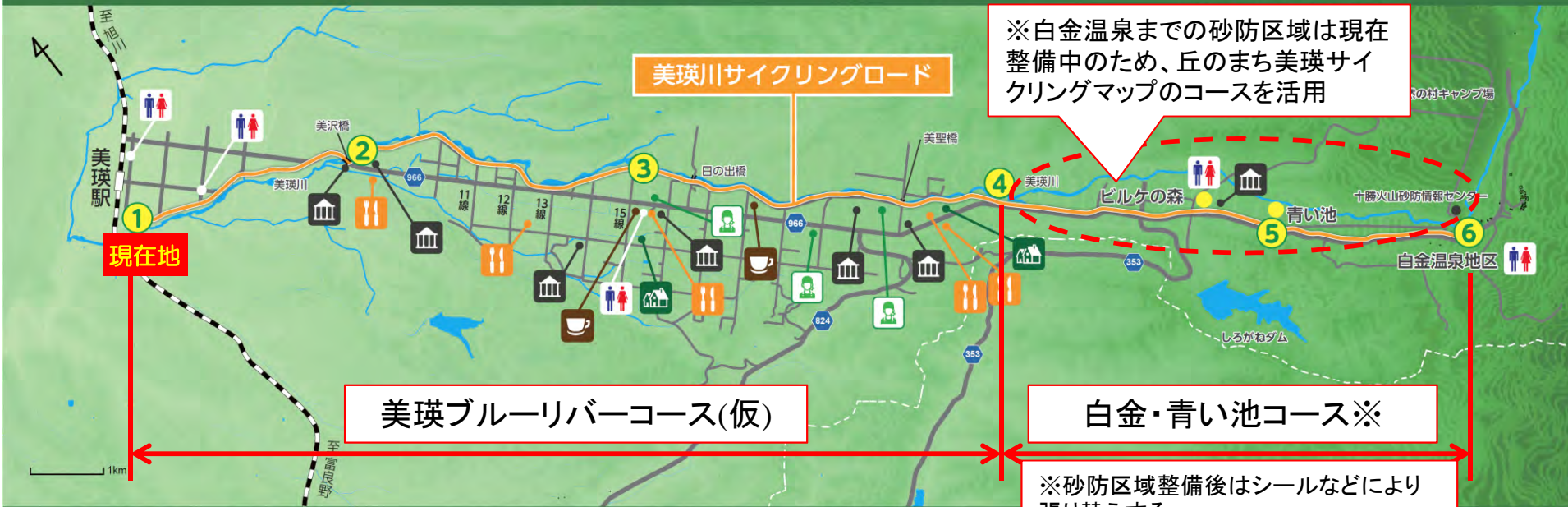


- 【凡例】
- : 伐採箇所
 - : サイクリングロード (堤防天端)
 - : 道道966号

案内看板案 (起点)

美瑛川サイクリングロード

Map of Biei River Cycling Trail



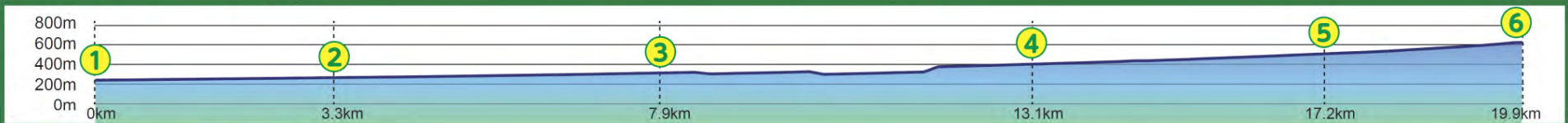
※白金温泉までの砂防区域は現在整備中のため、丘のまち美瑛サイクリングマップのコースを活用

美瑛ブルーリバーコース(仮)

白金・青い池コース※

※砂防区域整備後はシールなどにより張り替える。

ロード標高案内 Ground Level



ロード案内 Facility Information

現在地

四季の橋



美沢橋



美瑛市街地区



道道入口



青い池



白金温泉地区



3.3km



4.6 km



5.2km



4.1km



2.7km



凡例 Explanatory Notes



トイレ
Toilet



カフェ
Cafe



レストラン
Restaurant



ギャラリー
Gallery



民宿・ペンション
Guest House / Pension



農園・直売所
Farm / Produce Stand

(3) 利活用の促進（地域との連携）～社会実験の実施結果～

・サイクリング利用者によるサイクリングコースや周辺施設等の利用増加を図るため、サイクリングの利便性向上となるサイクリングスタンドや空気入れ、修理道具等の設置が考えられるが、これらのサポート設備を周辺施設等に設置し、その有効性、必要性を検証するための社会実験を行った。

1. 期間

7月15日(金)～8月21日(日)の約1ヶ月間

2. 社会実験箇所 計16箇所

- 1) 公共施設（白金インフォメーションセンター、観光センター、北西の丘）
- 2) 一般施設（別途アンケート結果より15施設に確認 →最終的に13施設を対象）

3. 設置する設備等

- ・サイクルラック、空気入れ、工具（ラックは現状ないところに貸与）
- ・社会実験中であることが分かる入口表示（貸与）

4. ニーズの把握

- 1) アンケート調査：社会実験施設にアンケート用紙を設置、期間終了後に回収
- 2) ヒアリング調査：期間中に、アンケート用紙を利用し、自転車利用者及び施設に対してヒアリング

5. 告知

- ・旭川開建のホームページに掲載
- ・美瑛町、美瑛町観光協会等にちらしを設置



(3) 利活用の促進（地域との連携）～社会実験の実施箇所～

・13店舗、3施設の計16箇所で社会実験を行った。



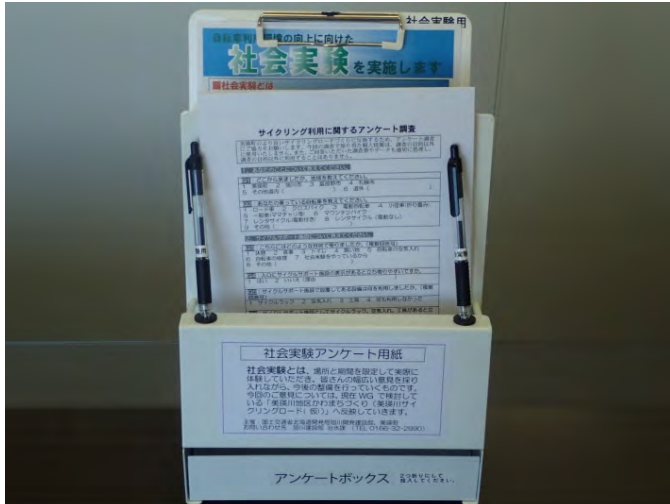
ちらしのQRコードを読み取ると、右のMAPデータ(PDF形式)がダウンロード可能
→各自のスマホ等でいつでも、どこでも確認可能

※社会実験開催期間中
MAPダウンロード数43回



(3) 利活用の促進（地域との連携）～アンケート集計結果～

- ・各店舗/施設には、社会実験の期間中アンケートボックスを設置した。
- ・あわせて対面式アンケートを実施した。



アンケートボックス設置期間: 7/15～8/21

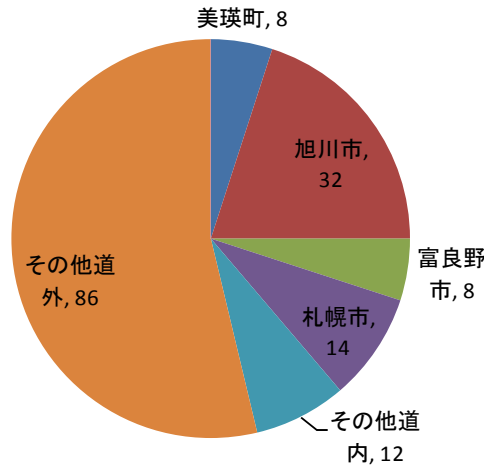


対面式アンケート: 8/4、7、11に実施

《アンケート集計結果》

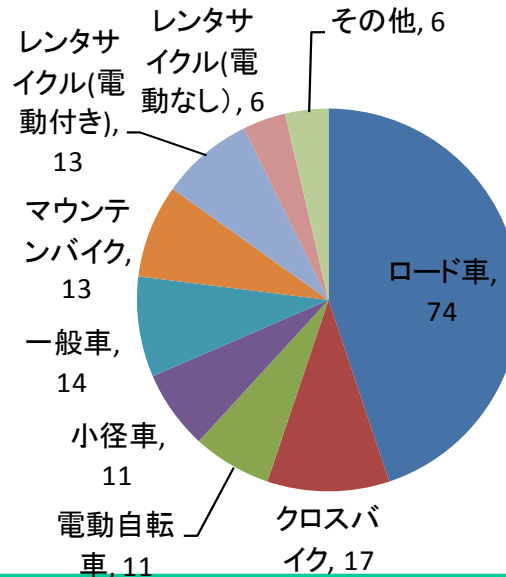
アンケート回収数: 160
(設置式: 129、対面式: 31)

①: どこから来ましたか



- ・道外から来た方が半数以上 54%
- ・道内では旭川市が多い 20%
- ・美瑛町外から来た方が 95%

②: あなたの乗っている自転車は？



- ・ロード車が約4割と多かった
- ・次いでクロスバイク、マウンテンバイクなどとなっている。
- ・レンタルサイクルは12%と少なかった

(3) 利活用の促進（地域との連携）～社会実験で設置した設備に対するアンケート集計結果～

・各店舗/施設には、サイクルサポート施設の表示(タペストリー型)、サイクルラック、空気入れ、工具を設置した。

サイクルサポート施設の表示



・入口表示があると立ち寄りやすい(91%)
160人中145人が回答

・多数意見より入口表示は必要であることが確認できた。

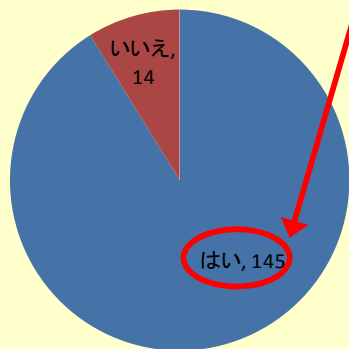
サイクルラック



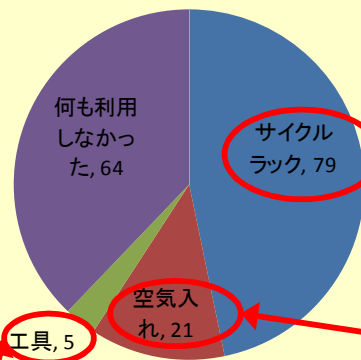
・サイクルラックの利用(47%)
複数回答169人中79人が利用

・約半数の利用があったことから、サイクルラックも必要であることが確認できた。

③: 入り口にサポート施設の表示があると寄りやすいか?



④: 利用した設備は?



⑤: サイクルラック、空気入れ、工具があると立ち寄りやすいか?



・サイクルラック、空気入れ、工具があると立ち寄りやすい。(97%)
160人中149人が回答

工具等ユーティリティ

パンク修理キット、六角レンチ、モンキーレンチ



・工具の利用(3%)
複数回答169人中5人が利用

・利用数は1割にも満たなかったが、工具についても置いてあれば安心感につながる。

※空気入れ及び工具は、通常は店内に設置し、希望者へ貸し出しをしていただいた。

空気入れ



・空気入れの利用(12%)
複数回答169人中21人が利用

・利用数は約1割程度であるが、空気入れは置いてあれば安心感につながる。

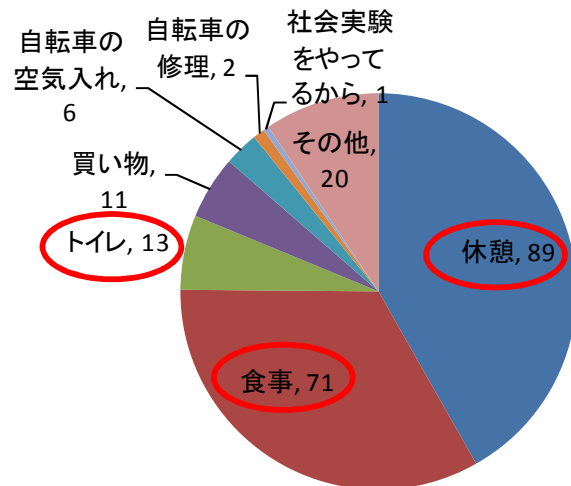
(3) 利活用の促進（地域との連携）～アンケート集計結果～

- ・ サイクルサポート施設にあるとよいものとしては、トイレ、給水場、飲み物・自販機等が多かった。
- ・ その他、社会実験期間が夏場であったことや雨が多かったこともあり、雨宿り場や着替え場があるといいという声もあった。

⑥: 施設に来た目的は？

(複数回答可)

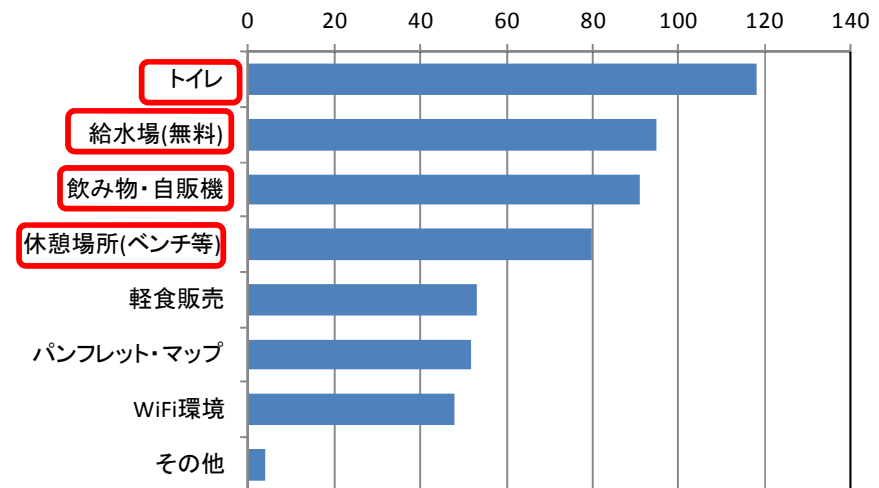
- ・ 休憩 42% (複数回答213人中89人が回答)
- ・ 食事 33% (複数回答213人中71人が回答)
- ・ トイレ 6% (複数回答213人中71人が回答)



⑦: サイクルサポート施設として何があれば立ち寄ろうと思いますか？

(複数回答可)

- ・ トイレが最も多い
- ・ 次に給水場(無料)、飲み物、自販機、休憩場所など



⑧: サイクルサポート施設に望むことはありますか？

(自由回答)

- ・ 実験期間中は雨がかったこともあり、雨宿り場、雨具などの意見があった
- ・ 夏場であったため、シャワーや着替え場所などの意見もあった

- ・ 雨宿り場、カッパ等の雨具
- ・ 携帯の充電器、コンセント
- ・ 救急箱
- ・ シャワー、着替え場所
- ・ オイル、ドライバー
- ・ ロード車のレンタル
- など

(3) 利活用の促進（地域との連携）～ヒアリング結果～

- ・社会実験終了後、16箇所の店舗（13）、施設（3）にヒアリングを行った。
- ・今回の社会実験でサイクルラック等の備品やサイクルサポート施設の表示が効果的であることが確認できた。

○ヒアリング結果（主な意見）

<利用状況について>

- ・ラックの利用は多かった。ラックに説明の看板が付いていたため説明しなくても自転車を置いていた。

<売上等への効果について>

- ・ラック等の利用者は多かったが、社会実験の設備があったから来たという人はいなかった。
- ・ラックが置いてあることが分かれば、また来年来てもらえるかもしれない。

<ラックの今後の予定について>

- ・ラックは、13店舗のうち設置済み（5店舗）、今後自作または購入を予定している（5店舗）。

<入口表示について>

- ・入口表示を見て寄ってくれた人もいた。色がわかりやすかった（しまなみ等で使われている色で馴染みがあった）
- ・「サイクルサポート施設」という表示がわかりやすくてよかった。
- ・もう少しオシャレなもの（美瑛町に合ったもの）がいい（少数意見）。



○まとめ

- ・サイクルラックの利用者は多く、利用者や店舗/施設から好評であった。
- ・空気入れ、工具等は、自分で携帯している人が多いため必ずしも置いておく必要はないが、置いてあれば安心感（あそこまで行けば何とかなる）につながる。
- ・「サイクルサポート施設」の表示があった方が自転車利用者は入りやすい。
- ・サイクルサポート施設の表示及びサイクルラックを設置することでサイクリング利用者によるサイクリングコースや周辺施設等の利用増加が図られる可能性があることが確認できた。
- ・今回の社会実験期間中は顕著な売上等の効果が見られなかったが、ラック等を継続的に設置することにより、リピータの増加や利用者がSNS等で拡散することによる新規の顧客の増加が期待できる。

(3) 利活用の促進（地域との連携）

・社会実験で作成したサイクルサポート施設デザインを「大雪山十勝岳連峰をぐるっと一周するルート」の約60のサイクルサポート施設で使用予定。

○参考（シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート）事務局

※社会実験の実施店舗抽出の参考にさせていただいた、「シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート」サイクルサポート施設アンケート実施事務局

※現在「大雪山十勝岳連峰をぐるっと一周するルート」のルートマップ及びサイクルサポート施設について検討中

<サイクルサポート施設の表示>

・社会実験用として作成したサイクルサポート施設の表示デザインを「大雪山十勝岳連峰をぐるっと一周するルート」の上富良野町ほか約60のサイクルサポート施設で使用予定。

※約60のサイクルサポート施設には美瑛町内の施設24施設（社会実験実施13店舗全て）含む

・採用理由はサイクル先進地のしまなみ海道のブルーと統一性があり、わかりやすい。

<ルートマップ及びサイクルサポート施設詳細情報>

・平成29年3月までに各施設のサポート詳細内容（サイクルラック、給水、トイレ等）をインターネット上で公表予定。



(4) PR方法

試走、モニターツアー（周辺観光の魅力を掘り起こし）、イベントの開催

●試走案(ロードバイク、クロスバイク使用)サポートカー併走

美瑛町役場集合9:30発→美瑛駅～四季の橋～美沢橋～砂防堰堤前→(自転車約15km)→10:30インフォメーションセンター(青い池サイダー試飲)10:40→(自転車約1km)→10:45皆空窯(箸置きづくり体験)11:30→(自転車約1km)→11:35青い池(散策)12:00→(自転車約2km)→12:10白金温泉(昼食)13:00→(自転車約20km)→14:30美瑛町役場(意見交換)16:00

●参考「道北版スイス・モビリティモニターツアー」がH28.9.14～15に実施。

(自治体、観光協会、旅行会社等約40名が参加)



道北版 スイス・モビリティ モニターツアー

～9市町村周遊メインルート確立事業～

日時:平成28年9月14日(水)10:00-15日(木)17:15

場所:和寒町役場をスタート

モニターツアーの目的

■豊かな自然環境、雄大な自然景観や生産活動の中で形成された農村景観、安全で高品質な農産物等、魅力的な観光資源をサイクリングにより掘り起こし、地域を活性化する。

ツアー参加者の声(一部)

- ・フットパスで森の中を歩いたのは、ふだん見られない景色が見られてとてもよかった。
- ・自転車で長い距離を初めて走ったが、ふだんの自転車と比べて疲れも少なく、景色も楽しめた。
- ・せめて国道にサイクリングロードを作っていかなければ、自転車に乗る人の安全はできないのではないかと感じた。
- ・2日間の行程の中で、サイクリングであれば休憩の時間など、息抜きができていろんな楽しみ方ができるような配慮が大事ではないか。



下川町での箸づくり体験

観光地間を自転車で移動



舗装された河川堤防上を走行する参加者



ツアーに使用した自転車

3.今後のワーキンググループ開催スケジュール(案)

平成28年度WG開催スケジュール(案)

○第1回

平成27年11月6日

○第2回

平成28年3月4日

○第3回

平成28年6月8日

○第4回

平成28年10月25日

○第5回

平成29年

・サイクリング試走

(美瑛川地区かわまちづくり区間を試走+α)

○第6回

平成30年～平成31年

・モニターツアー

(整備完了後、現地最終確認のため試走)